

■安積中学校■安積高等学校在京同窓生

東京桑野会会報

●1995年3月1日発行●発行・編集人 澤田 悌●発行所 東京桑野会事務局 〒160 東京都新宿区1-3-8 YKB新宿御苑804



No.17

福島県立安積高等学校校歌

福島県立安積中学校 校友会 作詩
福島県立師範学校教諭 原田敬一 作曲

一、嫩草萌ゆる安積野や

雲に聳える安達太郎
樹影さ揺らぐ風もなく
遺徳の華のかぐはしき
礎かたき学宮に
励む吾が儕幸多き

二、開成山の春の色

翳す徽章も桜花
五十鈴の湖の秋の月
理想の光明仰ぎつつ
文の林に分け入りて
学べ吾が儕とことばに

三、七州の覇と謳はれし

榮譽ある歴史偲ぶ時
先進の意気身にしめつ
熱誠事に当りなば
海内比なき校風の
確立などか難からむ

四、吾が桜章の健男児

山より高き気を奮い
水より潔き志操もて
文武の道を一途に
皇国の為に竭しなば
などか偉業の成らざらむ

五、磐梯の嶺荒ぶとも

阿武隈の水狂ふとも
義を見て勇む雄叫びに
いかて勝らむ益良雄よ
いざや正義の矛把りて
尊き使命果さなむ

理想の光明
仰ぎつつ
文の林に
分け入りて
学べ吾が儕
とことばに



挨拶



澤田 悌

東京桑野会会長

会員の皆様には益々お元気にお越しのことと拝察、心からお慶び申しあげます。平成も七年を数えましたが、東京桑野会会報も昨年の母校創立百十周年記念号に続いて、ここに第十七号をお届けいたします。さて今年も恒例の東京桑野会総会を、来る四月二十五日（火）に開催いたします。詳細は別項記載の通りですが、いつも椿山荘の竹花則栄さん（55期）の格別のご高配により、同荘で盛大に会を開いております。

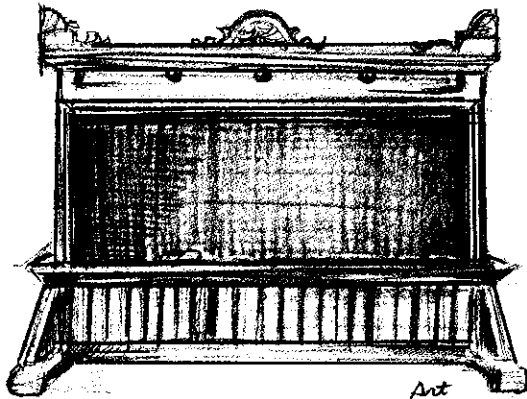
何といっても、桑野で多感な青春前期の数年間を過ごした思い出は格別のものです。どうか皆様それぞれが、あの学舎、あの故郷の風景、あの人々を偲んで、愉快な一夕を楽しんでいただきたいと思えます。

又今年三月安積を卒業して東京地域に進学或いは就職される方も多いでしょう。東京桑野会は若い同窓生諸君を心から歓迎いたします。事務局にご連絡の上総会にも気軽にご出席ください。

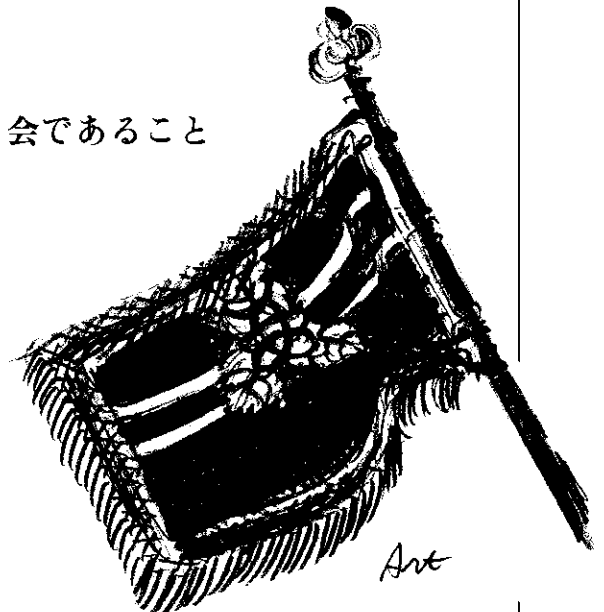
最近内外情勢を看るに、東西冷戦構造が終わったせいか、世界全体にどうも緊張感が崩れ、何となく所謂世紀末的な様相が多いようです。このような時こそ安積魂が物をいうでしょう。皆様のご健在をお祈り申し上げます。

東京桑野会三箇条

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員は仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何らかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること



Art



Art



NEWS & TOPICS FROM ASAKA

母校便り

★安積高校創立百十周年記念式典

本校は、周知のように明治十七年に福島中学として開校されてから、平成六年九月をもって創立百十周年を迎えた。創立百十周年記念式典および62期卒の門馬晋氏（元読売新聞論説委員）を講師として「好奇心と行動力」という演題で文化講演会が九月三日に挙行された。

関連して、福島民報、福島民友の両紙で県立安積高等学校創立百十周年特集が組まれた。

★安積高校新聞（第四百十三号）の特集記事

「迫り来る大学入試その現状は——大学合格者から現状を探る——」と題した特集が組まれていた。数年前にも同じような特集が組まれた。その時、筆者は「がむしやらに頑張れ」というコメントをこの母校便りのなかで書いた記憶がある。彼らにとって、大学入試は最大の関心事であることに間違いはないだろう。しかし、それ以上に現場にいるものとして、大学四年間あるいは二年間を無意識に過ごさないことを彼らに切望する。

★創立百十周年記念海外派遣事業

本校初の試みとして、二年生十人、引率教師二人が参加し、生徒海外派遣事業が平成六年七月二十六日～八月四日の十日間行われた。平成五年が本校の大先輩である朝河貫一博士の生誕百二十周年ということもあり、博士ゆかりのダートマス大学・イエール大学を中心として、ボストン市・ニューヨーク市などアメリカ東海岸地区を訪問した。この事業は、今後五年間継続される。（3頁参照）。

★安積健児の活躍

剣道、ソフトテニス、水泳の奮闘が目立った。剣道はインターハイ出場。ソフトテニスでは二組（藤田・遠藤ペア、佐藤・遠藤ペア）が全国大会出場を果たした。また、水泳では百バタフライで渡辺君が国体出場した。「本年は、あまり目立った活躍がなかったな」と仲村哲郎先生がおっしゃっていた。今後の安積健児の活躍を期待する。

人が季節が、集います。



味

お食事

伝統の味に季節の彩りそとて

- 料理：錦水
- 松阪牛和風料理・離れ家
- レストラン・カメラア

宴

ご宴会

- 華やかな集いに17の大小宴会会場
- 2,500名様までのパーティ、国際会議、ファッションショーなどのお集まりに。
- 最新機能の音響装置。

寿

ご婚礼

- 住き日に永遠の幸せを誓う
- 800名様までの日本料理、フランス料理、着席ご披露宴
- 庭園での記念写真も随時お撮りいただけます。
- チャペルでのご挙式も承ります。

FUJITA KANKO

※外支配人
竹花則栄(55期卒)

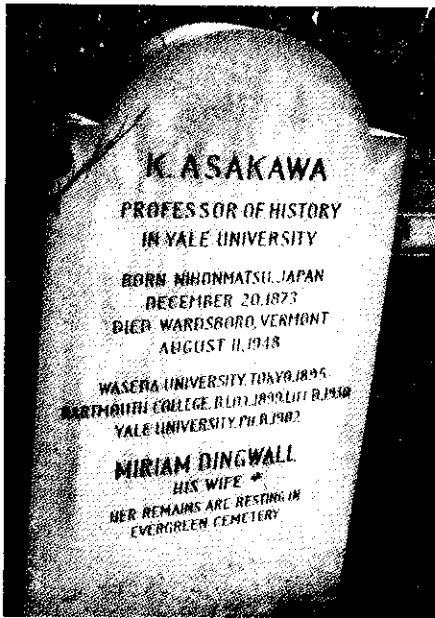
CHINZAN-SO
精山荘

東京都文京区関112-10-8

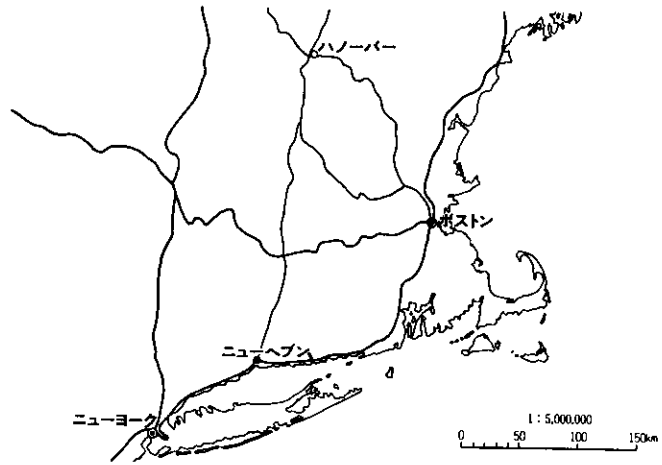
☎03-3943-1101

安積高校創立110周年

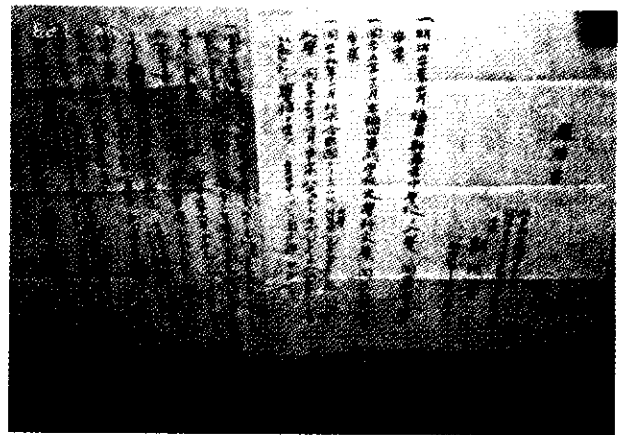
代表生徒によるアメリカ北東部への研修



朝河博士の墓碑



ダートマス大学図書館の「朝河コーナー」



朝河博士の自筆履歴書

「バリュー・フォー・マネー」価値ある車の価値ある価格。
 そろそろ、こんな英国車を愉しまれてはいかがですか。



ROVER MINI SERIES

- Mayfair 1.3i(M/T)・・・¥1,390,000
- Mayfair 1.3i(A/T)・・・¥1,490,000
- Cooper 1.3i(M/T)・・・¥1,690,000
- Cooper 1.3i(A/T)・・・¥1,790,000



ROVER 100 SERIES

- 114 GTi・・・¥1,590,000
- 114 GSi・・・¥1,690,000



ROVER 600 SERIES

- 620 SLi・・・¥2,590,000
- 623 SLi・・・¥2,990,000



RANGE ROVER SERIES

- 4.6 HSE・・・¥6,950,000
- 4.0 SE・・・¥5,950,000

予約受付中

※価格は全国店頭希望価格です。消費税及びその他の税金、保険料、登録料、付属品の費用は別途申し受けます。

ROVER JAPAN



〒153 東京都目黒区東目黒4-7-1

ローバー中野支店

〒165 東京都中野区江原町3-18-1 TEL.03-3950-1001

支店長 清水和昭 (66期)

学校長 宮島 守之

本校創立百十周年を迎え、昨年は会員の皆様にご大の援助をいただきまして誠にありがとうございます。教職員・生徒になりかわりまして厚く御礼申し上げます。

九月三日の記念式典には同窓の佐藤福島県知事・藤森郡山市長をはじめ、各支部の代表の方々のご出席を得まして、厳粛な中にも盛大な式典を挙行できましたことは感激でございました。各地よりこの日のために足をお運び下さった方も多数いらっしゃって、式典後に催された祝賀会も大盛況でございました。

式典の日の前後にもクラス会や同期会が随所で行われたようでございまして、その途次学校や安積歴史博物館を訪れて下さった方が大勢いらっしゃいました。

記念事業として企画されました「安中安高百年史」以後の歩みを記録する「十年史」も「燃ゆる安積野」の名のもとに刊行することが出来ましたし、奨学事業として計画されました在校生による海外研修も夏休みを利用して行われました。前年が朝河貫



一博士生誕百二十年にあたるということで、生徒の中から選抜された十名が朝河博士ゆかりのイェール大学やダートマス大学を見学し、偉大な先輩の足跡に触れて参りました。参加した生徒諸君の喜びもさることながら実際に見聞して得た感動は一口に表現しえないものがあつたように思います。その貴重な体験は、展示・報告会・研修記録集として全生徒に還元されております。

これらの諸行事が有意義に行われましたのも、諸先輩方の母校に寄せられる熱い想いとご理解があつたればこそと深く感謝申し上げます。

いよいよ本年は第五十回国民体育大会が本県で開催されます。一県で全ての競技を行うという大規模なもので、県民あげてその準備にあたっております。本校からもいくつかの競技に選手を送ることになるでしょうが、大会が成功することを祈っております。昨年の総会には急に体調をくずして欠席いたしましたことをおわび申し上げます。

皆様方の益々のご活躍と会の一層の発展を祈念いたしましてあいさついたします。

●収容能力15万トンの業界大手

五十嵐冷蔵株式会社

(冷蔵・冷凍食品・低温運輸の総合エンタープライズ)

〒108 東京都港区芝浦2-10-5
TEL 03(3451)1111 (大代表)
03(3451)0112 (直通)
FAX 03(3451)1114

東京桑野会会員
専務取締役
吉田弘俊 (第52期)

兼営のレストラン「ヤムヤム」TEL3769-1155
(JR田町駅から徒歩7分の本社構内。駐車無料、
年中無休)は、「高級で廉価」と好評です。
なお、会員のご家族やクラス会などには、右の
『直通電話』にご連絡下されば、予約を承ります。

更生保護とボランティア

高瀬 禮二（46期）

弁護士・財団法人日本更生保護協会理事・財団法人更生保護会振興財団

私は、いま更生保護という仕事を推進するためのいくつかの団体に関係しています。更生保護といっても、おそらく皆さんにはなじみのない言葉だと思いますが、実は、この仕事は、犯罪を行った人や非行に走った少年などが実社会の健全な一員として立ち直って、社会に復帰するのを手助けする仕事なのです。

国の立場では、法務省保護局が担当し、第一線では、保護観察官などが働いていますが、何分にも現実の地域社会のなかで行われる仕事だけに、単に国の機関だけでは十分な効果をあげることはできません。そこで、この仕事には多くの民間の篤志家が参加し、官と民が一体となつての、いわば官民協働という形で進められていることが大きな特徴になっています。

戦後このような制度ができて、今年で四十六年になりますが、最近いろいろな分野で大きく取り上げられているボランティア活動の走りの一つといえるかもしれません。

ところで、この仕事に参加している民間の篤志家ですが、まず、保護司として、地域社会のなかで、

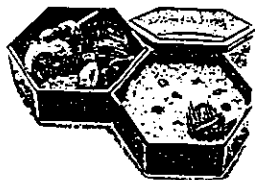
保護観察官と一緒に、相手となる人たちに保護観察という指導監督などを行っている方が約五万人います。また、民間の方々によって設立経営されている更生保護会という施設が百近くあり、適当な住居などが無い人たちを収容して、保護活動を行っています。さらに、協力組織として、まず、更生保護婦人会に属する約十九万人の会員は、母として、また、婦人としての立場から、この仕事に協力していますし、BBS（二十世紀初頭ニューヨークで始まったBig Brothers and sisters Movement「大兄姉運動」といわれています。につながる）会の約六千人の会員は、非行少年あるいは非行のおそれのある少年のよい友達となり、兄や姉の立場に立って、その立ち直りと成長を助けています。このほか、協力雇用主と呼ばれる約四千人の方は、相手となる人たちを積極的に雇用し、その更生を援助しています。

この方々は、みな人間愛と社会奉仕の精神でこの仕事に献身的に取り組んでいます。私は、この方々の身近におり、その熱意と努力には心から敬服しています。わが国は、いま治安の確保された、犯罪の少ない国として世界の注目を浴びていますが、この更生保護の活動は、そのような成果をもたらしている原因の一つともいわれています。

しかし、この仕事がさらに大きな働きをするためには、何と申しましたが、ひろく地域社会の一人でも多くの方々にこの仕事に対する関心と理解を深めていただくことが何よりも大事なことでありますので、堅い話でどうかとも思いましたが、この機会に、若干のPRをさせていただきます。

今もかわらぬ健康の喜びと味の文化をお届けして30年

弁当給食 & 仕出しのパイオニア



仕出し部 あさか野

〒963 郡山市細沼町3番20号・協同組合郡山商工給食センター

理事長 小針良雄 (67期)

☎ 0249-33-2357・FAX 0249-33-2769

桑野会同窓の御縁

市川 衛門 (51期)

日中長期貿易協議委員会 常任理事・参与
 財日中経済協会 理事

人間は明日のために生くべしと考え、歴史は私も好きですが、自らの想い出を書くことは不得手で、思い違いがあればお許し願います。

昭和十四年安積中学を卒業し、旧満州の建国大学の二期生となりましたが、50期の作田良夫さんが既に一期生として居り、爾来五十余年お世話になっております。また、51期の忠考君の弟の忠宏君が建国大学に入学して来ましたが、残念ながら戦時中に亡くなりました。関東軍の兵隊からソ連の捕虜となり、東大に入り直して昭和二十五年に大蔵省に入ったところ、忠兄弟の長男の忠佑市さんが主税局の課長をしていらっしやいました。税務署の雇から高文をとり、後に税務大学の初代校長となり、中央大学の税金学科の教授として税金を学問として確立され、先年亡くなりました。

私は大蔵省では金融関係が長いのですが、税金では大館税務署長と仙台国税不服審判所長を務めました。ソウルの大使館に勤務中、日韓租税条約を交渉したのは忘れられません。中国でも税金に係り、昨年からの税制の大改正があり、ブームを来している対中投資に問題が起きています。

大蔵省からソウルや北京の大使館に勤務することになったのは、中国語が分り、建国大学の学友が中国、韓国、モンゴル、ロシア等に居たためかと思えます。

外務省には、安積出身が随分と居ります。パキスタン大使で亡くなった根本さんをはじめ、私が北京大使館に行った昭和四十九年に79期の樽井、橋本の両君が揃って語学研修を受けていました。樽井氏は先日までアジア局中国課長をしており、古川清さんや遠藤実さんは現役の大使です。

大蔵省を退職してから、日中経済協会とともに中国の石油、石炭の輸入とプラント、技術を輸出する長期取決めに従事して十八年となり、時々訪申します。平成五年秋上海に行き、日本興業銀行上海支店長菅野真一郎さん(75期)から上海を中心に中国事情を伺いました。その時安積出身と聞き心強いことでした。現在本店に帰り、中国委員会委員長をしています。中国の堅実な発展のためには、金融の役割は重要なものであり、今後も教えて貰う積もりです。中国の話になると、鄧小平さんが亡くなったかどうかと必ず聞かれます。横浜市立大学の矢吹晋さん(70期)は、「文化大革命」はじめ正に「鄧小平」など多数の著書と各方面に活躍しております。政治だけでなく、経済も詳しいようです。

今年には戦後五十年、明治維新から百二十七年、安積は百十一年、その間七十余年を生きて来ましたが、戦前の軍国主義の時代から戦後復興を経て、今新しくアジアの時代を迎えております。

若い方々と一緒に勉強したいので、宜しく願っています。

新技術・製品で社会に貢献

工業用ゴム製品の製造

代表取締役社長

伊藤 巖 (65期)

角田康夫 (71期)

面川祐一 (100期)*

根本雅司 (100期)*

佐藤誠幸 (101期)

水野淳也 (102期)

株式会社 朝日ラバー

本社 埼玉県川口市赤井 2丁目13番11号 〒334 福島工場* 福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字坊頭窪 1番地 〒969-01

電話048(285)2251(代表)

FAX 048(285)2254

電話0248(53)3491(代表)

FAX 0248(53)3493

アイランドゴルフ

古川 清 (63期)

アイランド大使

スコットランドの陰に隠れてアイランドのゴルフ場はあまり知られていないが、ポートマーンノック、パリーブニオン等知る人ぞ知る名門コースは沢山ある。北海道位の島に南北あわせて五百万の人口しかないが、きちんとしたゴルフ場は約四百程あり、農民が遊休地利用で経営する「ピッチ・アンド・パット」のショート・コースなどは到るところにある。

何よりも嬉しいのはどのコースもヴィジターを歓迎し対応が親切なことだ。その上夏涼しく、冬雪が降らないので、緯度が高いのに一年中プレイが出来ることである。問題は天気である。「アイランドでは四季は一日の間にやってくる」と言われる程天候が変わり易いので傘と雨具は必需品であり、靴も防水でない駄目である。併し雨上がりに日光に映えるコースは美しく無上の至福を感じることがある。雨が降っても一日中降ることはまずない。

アイランド人は賭が好きなので、ゴルフでも金を賭ける。併し賭金は多くて三ポンド(約四百五十円)位で、二人づつペアを組みグループ同志の戦い(ベスト・ボール)となるのが日本と異なる。賭に勝ってもその後バーでドリンクをおごらねばならぬ

ので大幅な持ち出しになるところが面白い。

勝負のやり方はストローク・プレイは少なく、大体がホール毎のマッチ・プレイである。調子が悪くても大叩きを強要されないでプレイが早く進むのが良い。その代わりハンディキャップは厳格で、オフイシャル・ハンディがないと馬鹿にされてしまう(私は漸く十八まで進んだ)。

最近若干崩れつつあるが、名門コース程プレイ後バーや食堂に入る時服装にうるさい。上衣とネクタイ着用が必須であり、もちろんスパイク・シューズは許されない。私は前記のポートマーンノックに入れて貰っているのだが、名門コースの為に夏場は米国からの観光客ヴィジターが多く、彼等は大体ゴルフ場にネクタイなど持って来ないので、最近ネクタイ・上衣なしで飲み食いの出来る「ハリー・ブラッドショー(故人だが所属していた有名なプロ)・ルーム」と銘打った食堂を作った程である。

プレイの後はシャワーを浴びるわけだが、特に冬の寒い時には日本のゴルフ場の熱い風呂が懐しくなる。又シャワー後の化粧品も揃っていないので皆自分で持参する。手間がかかるが、一回の費用の差(メンバーなら十万円位の年会費を払えばプレイ費は常に只)を考えれば致し方ないのかも知れない。

その昔、日本のゴルフ・ブーム到来のきっかけとなったカナダ・カップで来日したクリスティ・オコンナーは七十五歳というのにかくしゃくと元気で依然易々とハンディ・ゼロで廻っているのだから驚く。会うと「霞ヶ関」のコースの美しさを讃えることを忘れない。

あなたの生活まるごと運びます

●お問合せ・お申込は

TEL (0423) 65-8100

◎一般引越

遠藤征志郎 (72期)

府中運送株式会社 代表 (0423) 65-1476

府中市白糸台1-23-10 (新甲州街道白糸台1丁目交叉点角)



戦後五十年に想う

黒河内 潤 (58期)

宗教学人生長の家理事長

われわれ58期は、大東亜戦争に突入した昭和十六年の安中入学だから、戦後五十年というこの日にペンをとれば、どうしても戦争の話になる。

昭和十九年十月、四年生の大半は鶴見と戸塚の軍需工場に勤労働員され、たが、私は出発直前に右眼失明の病に犯され、動員から外されて郡山の農事試験場の勤労奉仕に回された。仕事は、農作物増産のための研究の助手ということだったが、今でも憶えているのは、根粒菌培養のための寒天と砂糖で羊羹を密造(?)したり、色の付いたアルコールを蒸留して怪し気な飲みものを作ったりしたことだけである。昭和二十年四月十二日。郡山市が初めてB29に襲われたその日は矢吹の農場に出張していて、頭上を銀白色に輝いて悠々と飛翔するB29の大編隊を、敵機ということも忘れて実に美しいと見とれていた。ところが帰宅して、爆撃のために同級生をはじめ多くの方々の命が奪われていたことを知って、何ともやりきれない自己嫌悪に見舞われた。

次の日の昼前、農事試験場に兵隊ほか数人がやってきて田園の中に丸太のようなものを積み上げて焼き始めた。そのうちに、異様な臭いが漂い、爆撃の

犠牲者を火葬にしているものであることが分かった。夜に入ると赤い炎が消え、代わって青い炎が人魂のように闇の中に断続的に浮かんで消えた。

この時から、なぜ人間同士が殺し合わねばならないのかの疑問が心の隅にわだかまるようになった。この世界には命を賭してでも守らなければならないものがあることは分かる。しかし、それがもし、偏見や誤解の所産だったとしたら、そのための苦労辛酸は何とも痛ましいと言わねばならない。

ボスニヤ・ヘルツェゴビナは、わずか四百三十三万の住民が、ムスリム人、セルビア人、クロアチア人の三つの勢力に分かれて三つ巴の殺戮を繰り返している。しかし実は、彼らはみな全く同一の南スラヴ人同士なのである。それにもかかわらず深刻な対立が生まれたのは、かつてオスマン・トルコに押し付けられたイスラム教を信ずる人たちがムスリム人を自称し、伝統的なセルビア正教を信ずる人たちがセルビア人を自称し、カトリック信者がクロアチア人を自称して、宗教に根ざした民族紛争の様相を呈したことから紛争は一層尖鋭化し、同一民族の民族紛争という奇妙な現象を生じたのである。

本来、調和をもたらすべき宗教が、逆に対立の要因となつていることは悲しむべきことである。それは、それらの宗教を信ずる人たちが、本当の「真理」は相対を超えた絶対なるものであり、万教共通であることを認識せず、「真理」を外側から包んでいる文化的・習慣的・形式的な差異を、これこそ我が宗教の独自性と思い誤っているところに起因する。大は国際関係から、小は個人のつきあひまで、相手を異質と見るとき、そこに不信や差別が起こり、

株式会社 東京シンクサービス

- 業務 特許公報の抄録・翻訳、工業技術の指導・調査
- 特色 高齢者の雇傭
(全従業員の91%が60才以上、70才以上は54%)

〒101東京都千代田区内神田2-13共同ビル
電話 (03)3254-5805
代表取締役 鎌田 正二(43期)

同質を発見できたとき友好と協調が生まれる。
初対面同士を、「安積の同窓生」というアイデンティティが十年の知己に早変わりさせるように、世界の隅々にまで「同胞」のアイデンティティを浸透させたいものである。

ASAKA FELLOWSHIP

産業交流のパイプ役に

管家 毅彦（76期）

日刊工業新聞社浦和総局長

一月半ば、先輩の大越昭男さん（73期、日刊工業新聞社販売局次長）から「東京桑野会に安積の思い出、近況を寄稿するように」と突然電話がありました。折しも阪神大震災が起こり、被災地から被害状況が刻々と報道されているときでもありました。全国民が大きな被害にならないようにと願っていました。予想をはるかに越える大惨事になってしまいました。改めて被災地の方々にお見舞い申し上げますと共に、一日も早く立ち上がることを念じております。さて、私が安積高等学校を卒業致しましたのは今から三十二年前の昭和三十八年でした。たくさんある思い出の整理がすぐにはつかないので今回は私の近況を報告する事にしました。

私の勤めている日刊工業新聞社は今年創刊八十周年を迎え、「創世、知的産業社会」のキャッチフレーズを新しく打ち出し、いろいろな記念事業を展開しています。特に、中堅・中小企業向けに役立つセミ

ナー、シンポジウムなど多くの企画を掲げ、産業界にさらに貢献していく重要な節目の年でもあります。私はここ数年間、埼玉県内の工科系大学と地域産業界の間で、特色ある新技術・新商品を創り出そうと、日刊工業新聞社の肝入りでできた産業交流会の運営に携わっています。具体的には、東京電機大学理工学部（産業機械・応用電子・建設・経営・情報工学科）と埼玉県西部地区の企業三十社でTDU産学交流会を、そして日本工業大学（機械・電気電子・建築・システム・情報工学科）と関東地区の企業二十六社でNITEC埼玉産学交流会を組織し、両大学の多くの先生方の指導で定期的に研究会を開いています。

まだ際立った成果は出ていませんが、福祉ロボットの開発のため大学との共同研究に意欲を燃やしている企業も現れてきました。また、人材確保の面でも卒業生の採用など良い方に向かいつつあり、全体的に見て各社とも何かを創り出そうとする意気込みが感じられます。

今後、このような産学交流会から新しい商品や新しい加工技術が生まれることを楽しみに、事務局の運営をしっかりやって行かねばと考えている昨今です。産業界を取り巻く経済環境も足踏み状態で、力強さに欠ける状況はまだ暫く続くだろうと予測されますが、いつの時代であっても企業を発展させ、牽引するのは、やはり新製品・新技術の研究開発にあるわけです。

日刊工業新聞社に身を置く私の役割として、大学あるいは国立の研究機関と企業のパイプ役に徹し、少しでも産業界の方達に役立ちたいと思っています。

幸せはひとりひとりの健康から

Pfizer
ファイザー



科学を世界の向上のために、
ファイザー製薬は
医薬品・動物用薬品・農業・
医療用具を通じて

ファイザー製薬株式会社
東京都新宿区西新宿2-1-1 〒163-04

55期
ファイザーヘルスリサーチ振興財団 理事長 紫野 巖

安積老凡人生の来し方・たわ言

矢部 之男 (63期)

元日本科学技術情報センター

われわれの同期生は何かがあると椿山荘を利用させてもらった。他期の諸兄に比べて多いような気がする。安積時代は第二次世界大戦期から終戦後の混乱期であったから、いわゆる疎開組が各クラスとも多かったように思う。澤田大先輩からは63期は結束が固いとお替めの辞にあずかったことを記憶しているが、こんな時代背景があったからこそと信じている。

凶抜けた秀才は旧制高校へ、その他大勢組は新制の高校生として残留した者が多かった。もちろん、私もその一人である。

その当時、郡山での下宿などは夢のまた夢、往復三十二キロのアップダウンの凹凸道をはじめの頃は徒歩で、後にはやっと見つけた自転車で通学した体験が、四季の自然に魅せられるもとなつたのは間違いない。そんな中で育まれたので、大学では何のためらいもなく地質学を学ぶようになり、外国での飛躍を夢見ていた。でもその実現は当時の日本の国状からも、わが頭脳からも当然無理と悟らされて、やっと拾われたのが日本科学技術情報センターという科学技術庁傘下の特殊法人であった。今でこそ行

政悪・規制緩和の悪の障壁とさえ宣伝されている特殊法人も、その当時は設立の使命に支えられて、私も創設時直後から三十年余をそれなりに努力してきたと信じている。

こんな経緯から第一団魂世代の兄貴分として、三十年余「ガンバル」てきた」と世間様には言いたいところだが、凡人の悲しさ、大学紛争に続くわが法人の紛争が身に降りかかり、生死の境をさ迷う事態となった。その時の救いの神がわが同期の三井記念病院副院長の鶴沼直雄先生である。

「ガンバル」という言葉は日本人大好きのような。私からみると無意味な常套句としか思えない。日本人の言う「ガンバル」にピタリという言葉が外国にあるだろうか。後輩の諸敬弟、この言葉をどのように考えられますか。最たる凡人の私が鶴沼先生にお救い戴いて以来、身心とも自然体が身に付いたように思っている。

二十二年前、現役時代の職掌柄、ブリュッセルでの科学技術情報機関の国際会議に出席した。その前後にはデンマーク、ベルギー、仏、英、と半ば務め半ば遊びと三週間強の旅。定年後になってJICAからの間接的な依頼で、モンゴルへの四週間の旅があった。いいか悪いかは別として、ともに女房同伴の旅として。

凡人、やっと老境にさしかかり、ヌレオチバ、シカトされぬよう心掛けながら、安積時代にシカトされたN先生を想いながら、自然の美しさ、厳しさ、植物の可憐さ・たくましさを表現すべく自分なりに彩墨画描きにはげんでいる。

小橋クリニック

院長 小橋主税 (86期)

福島県須賀川市仁井田大谷地172-3
TEL 0248-72-1555

異国で聴いた先輩の音楽

糠澤 榮一 (64期)

元第一勧業銀行

三年上級に現代音楽の作曲家、時に編曲でも活躍中の湯浅譲二先輩がおられる。先輩は安積在学中から独学で作曲を勉強しておられ、後年、慶応義塾の医学部を中退されて音楽の道に進まれたとのことであるが、愚昧な私は先輩が家業(?)の医学を捨てて音楽を選ばれた経緯を良く知らぬままに、音楽家湯浅譲二の名前を新聞などの時評で見かけるばかりで、作品について聴く機会を得なかったのであった。

さて、古い話で恐縮だが昭和四十七年六月に、私は銀行から出向して古河グループのオーストラリア事務所開設の応援で二年間シドニーに滞在することになった。単身赴任のこととて軽い荷物には愛用のオールウェーブ・ラジオを忍ばせて、新築間もないマンションに腰を据えた。

このラジオで二か月後に起きたドルと金兌換停止や東京の為替市場の状況も即時に把握できて重宝したりする内、次第に現地の生活に慣れ、日本の短波放送だけでなく、枕許で現地の放送に耳を傾ける余裕も出てきた。

ある晩、九時頃であろうか、キャンペラにあるA B C放送が突然、紛れもなくジョージ・ユアサ作曲

のものを放送すると言うのではないか。

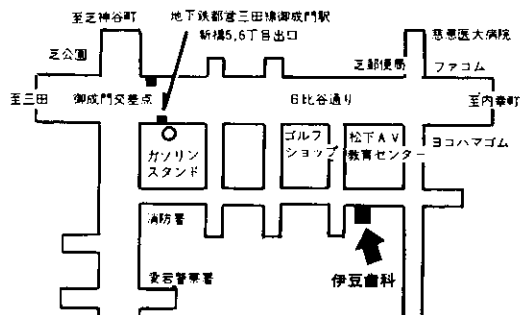
それから響いた音楽は、私の想像を絶する超現代音楽で、謂わば「日本書記」に記された陸奥国安積や、大化改新の律令制度下での国割り郡山などの偏狭な歴史的郷土意識は愚か、世界の境界をも超越した、宇宙からの音楽とでも称すべきものであった。

最初の一曲は終始、ガラスのシャボン玉が暗黒の宇宙でポカン・パリンと長閑に破裂しているような音の連続で、私の目玉もベッドの中で宙を舞った。

次の一曲は、短い衝撃音に続いて同じように低くドドドと連続音が聞こえて、それが間を置いて繰り返されるのであった。初めは何の音楽かと思っただが、音そのものに耳を任せる内に、ははあと勘づいたものがある。それは昔、郡山の停車場構内で豆機関車が貨車の入れ替え作業をする時に、機関車が小刻みに走っては貨車を切り放す、あの音ではないかと。

この音は昼間こそ、あまり響かないが、構内の照明灯が点いて、夜間入れ替え作業が開始されると、当時静かだった市中一帯の夜空に広がったのである。まして、先輩のお宅は駅から一分の近距離ではなかったか。思い出せば、印象的な音であった。

一度、先輩は桑野会報に「安積に通学している頃の私には、宇宙は五十鈴湖畔の桜の土手から、遠く望む安達太郎山の頂とそれに広がる裾野の風景、これが私にとっての原宇宙であった」と書かれたことがあると記憶している。これをオーストラリアから帰って何年か後に読んだ時、あの超音楽にしがれた門外漢は、二番目の曲想が先輩の原宇宙体験の近くにあった懐かしい音に発したものであれば良いがと勝手に考え、今でもそう念じている。



- 健保取扱
- 電話予約制
- 休診日：木、土、日、祝日
- 診療時間・10:00~13:00 14:00~17:30

伊豆歯科医院

港区新橋6丁目2-8
電話 (3434)0231

74期 伊豆 秀雄

母校への熱き思いに浸れる日

— 母校創立百十周年記念総会 —

平成六年六月四日土曜日、青空澄み渡る目白の高台、椿山荘に母校創立百十周年を祝う為、約二百五十名のOBが集まった。

例年の総会とは異なり土曜日としたことで、いつもより多彩な顔ぶれとなったようである。総会議長には、71期増子邦雄氏が選出され、様々な議案が次々と処理された。記念式典は、澤田会長の挨拶、そして多数の祝辞や祝電をいただき、東京桑野会の隆盛ぶりをかいま見るおもいがした。懇親会では、応援参加をしてくださった安女OGの花かすみ会の方達が、男所帯のパーティーを和やかで華やいたものにしてくれた。さらに、今回の特別ゲストのフジテレビ中井美穂さんの登壇が、百十周年記念の会場を大いに盛り上げてくれた。かたい有名人が多い(?)東京桑野会のメンバーも、中井さんの魅力あふれる人柄に、明るく楽しいひとときを過ごしたようだった。会も無事終了し、来年の再会を誓い合ったOBは椿山荘の夏の風物詩『ほたるの夕べ』の初日を楽しんだあと、グループでの二次会へ、家路へと、椿山荘を後にした。

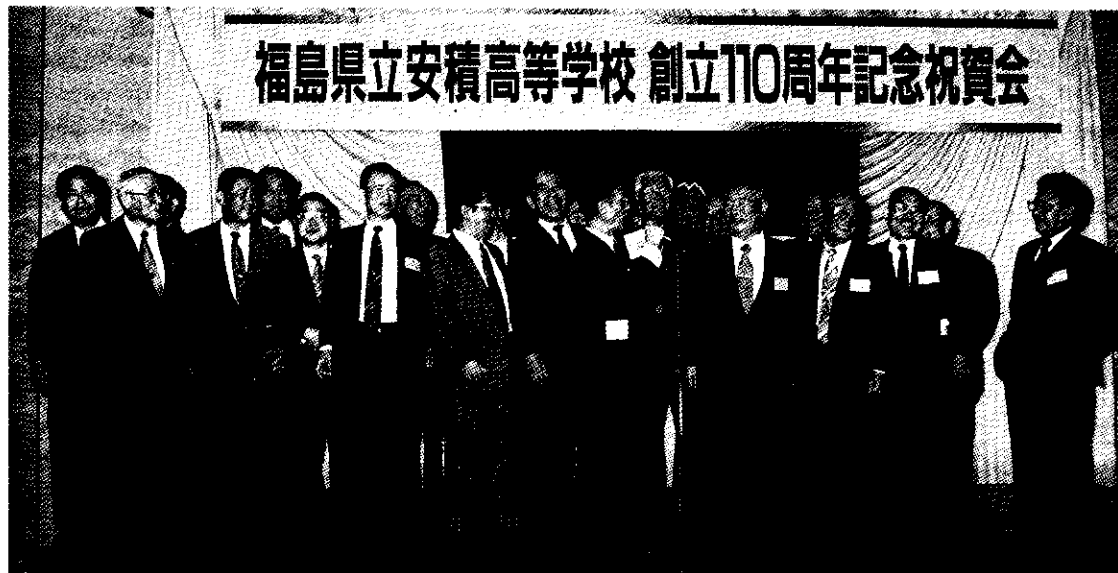
(広報部記)



総会で挨拶される澤田会長



記念式典での開会の辞は竹花副会長



校歌を斉唱し、大いに盛り上がりました。

ゲストの中井美穂さん



長瀬幸三氏(38期)、新城新七氏(39期)、日下部豊吉氏(39期)による乾杯のご発声



76期有志による応援歌合唱



東京花かつみ会や来賓の祝辞に、会場は華やいだムードに包まれました。



素晴らしい桑野会のみなごまへ

中井 美穂

Miho Nakai

フジテレビ・アナウンサー

昨年は、みなさまの母校・安積の創立百十周年という記念すべき年に、東京桑野会総会にお招きいただきまして、ほんとうにありがとうございます。

安積高校の卒業生である父（中井惣吉氏 65期）の高校時代のことといえば、野球をやっていたというくらいしか聞いていませんでした。総会では、その父が過ごした青春時代を「ちよっとのぞいて見ることができた」、そんな気がし、とてもうれしく思いました。

「総会の司会を、と同窓会の方から話があるんだけど」と父から言われたとき、考えました。「父のために何かしてあげたことが、これまでであったかしら」って。

パリで食べた父のお粥

大学を卒業するとき、父は仕事でモスクワに単身赴任していましたので、モスクワに寄ってから一緒



にパリに行きました。卒業旅行だったのですが、パリの日程は父が全部手配してくれました。でも「パリでは自分で地下鉄に乗って」と、いろいろ行ってみたくて考えていましたから、それが気にくわなかったんです。「こんな観光旅行みたいなのはイヤ」って、バスの中でムスツとしていたんですね。そして、「おまえがそんな顔してると同じバスに乗ってる他の方までいやな気分になっちゃうだろ」ってしかられたんです。ベルサイユ宮殿に行った後、気分が悪くなってお粥を食べさせてもらったこともありました。ホテルで休んでいたのですが、食事も「いらぬい」って言って何も食べずにいたら、父はわざわざ日本レストランまで行って、持ってきてくれたんです。それなのに、私が父のためにしてあげたことなんてあったかしら。考えてみたら、ほんとうに何にもないんです。それに父と二人で出かけるなんて、このパリ以来ありませんでし

だから、「司会を」とのお話しに、「こういう機会を大事にするのもいいかも知れない」と、お引き受けさせていただくことにしました。

『安心感』がお酒を……

総会の当日は、父は「照れくさいな、オレ」という顔をしていました。でも、どこかいつもと違うんです。「安心してるんだ」と、私には感じられませんでした。会社に入ってからのお友達とは違って、自分のグサイ時代を知っている、かつこ悪い自分を知っている、そんな友人のなかでは気取ってもしじまりません。私にいつも「違うってば」って注意される「シ」と「ヒ」の区別だっけに気にならなくなっていいんです。リラックスできるんでしょうね。

総会では、思っていたよりも、お年がうえの方が多いのと、男子校のはずなのに女性の方もいらっしやったのに驚きました。みなさん、校歌や応援歌を歌い、先輩・後輩そして同期のかがグラスを手に話に花を咲かせる……とても素敵な光景を見せていただきました。

総会の和気あいあいの雰囲気、そして楽しそうな父を見て、「安心感がお酒を飲ませるんだなあ、同窓会ってほんとうにいいなあ」と思いました。

『オメダイ』のきずな

私は生まれたのも育ったのも東京で、高校は目黒星美学園（東京世田谷区大蔵）でした。一学年九十二人の少人数の学校ですが、先輩や後輩と会ったときは「あのシスターはどうしてらっしゃる」とか、「（星美学園の）近くにあったお店がどうの」とか、とても懐かしく話します。

卒業するとき、オメダイ（マリアさまのレリーフのペンダント）メダイはポルトガル語でメダルの意）をいただくんですが、このオメダイのおかげで、いまアナウンサーの仕事させてもらっているのかもしれないと思うことがあります。



大学一年のとき、ある方とお会いしたら、私がつけてたオメダイを見て「あら、あなた星美（の卒業生）なの」。その方は、偶然でしたが星美学園の先輩のお友達だったのです。そして「星美の人ならぜひ」ってアルバイトを勧めていただきました。それが、NHKホールの場内アナウンスの仕事。月十日ほどでしたが四年間続けました。

NHKホールで公演があると、カーテンをチラッと開けてですけど、リハーサルから見ることができるとです。N響の「第九」やバレエ、学会、演歌の公開放送、「おかあさんといっしょ」の録画……あらゆるジャンルを、幕間から見ることができました。

それまでは、放送でも制作やコーディネーターのような仕事があったと考えていたのですが、「自分の声をホールの人に聞いていただける」アナウンサーになりたいと思うようになりました。

「星美の人なら大丈夫」と、先輩のお友だちは思っただけでした。お陰で、私はアナウンサーの道を歩むことができました。それは、なによりも先輩がいい人だからでした。

大学とは違って、高校のイメージというのは生徒や卒業生一人ひとりが創っているんじゃないかしらって気がします。「私もイメージを担っているんだ」、その気持ちをこれからもずっと忘れないでいようと思います。

最後になりましたが、総会の司会をやらせていただいた縁で、同期のアナウンサーが今年の夏に椿山荘で結婚式を挙げました。よくしていただいた竹花さまはじめ、みなさまに改めてお礼申し上げます。



【広報部事務局】中井美穂さんは、昨年六月開いた定期総会懇談会の司会をしてくださいました。本文中にもありますが、中井さんは65期の中井惣吉さんのお嬢さんで、厚かましいお願いにもかかわらず、お忙しいなかを快くお引き受けいただきました。

国民学校のころ(戦時中のころ)

伊藤 徹 (66期)

全通信労働者共済生活協同組合 総務部長

昭和十六年四月一日、新制度となった福島県郡山市立赤木国民小学校に入学。三クラスのうち一組は男子のみ、二組は男女、三組は女子の編成であった。今では一般的に男女共学となったが、当時は男子および女子のクラスより、男女共学のクラスに編成されたお陰でこれまでに何かにつけ幸せであったと思う。

二年にもなると、級長・副級長制度が導入され先生が学期ごとに選りなおすすめ仕組みであったと記憶しているが、自分が選ばれて家に帰って「級長になった」と興奮して報告をしたことを思い起こす。

三〜四年にもなると授業後の清掃の指揮をとったと言えはかっこいいが、ハタキを振り回して、所謂ハツパを掛けていたような気がする。これも軍国主義盛んなりしころの影響とでも言えようか。

大陸(当時の満州)から引き揚げてくる生徒もあり、途中転入してきた生徒が多かったのも四〜五年ころであった。当時学生服の金ボタンが大陸では五十銭もしたと聞いた記憶がある。インフレであったのだから。

六年にもなると、戦果が思わしくなく小学校の校

庭に長方形の防空壕を掘ったり、山へ行って油の原料となる松根掘りに駆り出されたりもした。

ある時B29の編隊が轟音を立てて山陰から現れたとき、近くの竹林に身を伏せながら、恐る恐る編隊を覗き見もしたが、子供ながらに恐怖にかられた。

そんなおり、校庭に防空壕を掘る作業で、クラスで作業中に誤って唐鍬で頭を一撃され、全身血がしたたる事故にあった。今でもそのキズは残っている。

草刈りにも動員され、今度は自分で左足首を鎌を切ってしまった。この時は何故か血を見ず、白い骨がくつきりと見えたのを覚えている。

いずれの時も父が郡山鉄道(国鉄)に勤務していたので、駅前にあった郡山鉄道病院に母に背負われたりして、空襲の最中に大回りして通院した記憶が残っている。

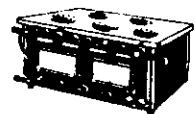
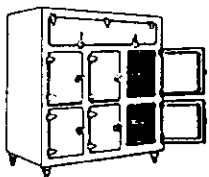
怪我と言えはこのほかにも、鉄独楽で額を割ったり、鬼ゴッコで垣根越しの石垣で眉間を割るなど、生傷が絶えなかった。

ますます戦果が危うくなり、郡山も駅周辺の工業地帯が空襲に遭うようになり、自宅の防空壕に避難した夜のこと、母が慌てたのだから、現在阿佐ヶ谷に住んでいる一番下の妹が背負われた際に後ろ向きになってしまった。防空壕の中でこちらを向いている妹を見てびっくりした。今でも話の種になっている。そういえばそれが原因かどうか不明だが、股関節の調子が今も悪いらしい。

食料難の大所帯(十人兄弟)に、父は鉄道の休みの日に大八車にこやし(人糞)を積んで、白岩村(舞木の姉)の畑を借りて野菜作りをしていた。父と兄弟で大八車を押して約四キロの道をよく通った

総合厨房設備工事 設計製作施工

サービス工事もお気軽に御申付け下さい。



株式会社 田崎製作所

本社藤岡工場 栃木県下都賀郡藤岡町大字藤岡872番地
TEL 栃木藤岡 (0282) 62-2678 (代)
FAX (0282) 62-9579
東京支店 東京都足立区弘道1丁目29番7号 TEL (03) 3880-4865 (代)

会長 小濱精吾 (58期)
社長 堀江 守

ものだ。舞木駅の手前で阿武隈川に鉄橋が架かっていて、真っ黒い煙を吐きながら盤越東線（郡山〜平間）の蒸気機関車は、当時は勇壮に見えた。

ある時学校から忘れ物を取りに戻った時、明番の父と母が八畳間の畳を上げて何やらやっているのに出会った。見ると親なりに食い扶持のヤミ米（？）を縁の下から床の間の裏側に隠している姿を見て、子供なりに親の苦勞をかいま見た様でいまでも目に焼きついている。

空襲で灯火管制が敷かれる中、弟（栄司五歳）が肺炎で亡くなった。雪の多い冬の葬列は、阿久津の火葬場まで父が子供を背負う白い帯で柩を担ぎ、兄弟が続いた。茶毘に付した遺体は、ボロボロのあみわたしの様な上に、胸の部分が黒くなった僅かばかりの骨が残った。

兄弟の多かった私たちは戦火を逃れるために、田村郡根木屋村桜内の父の実家の離れに、母と私と、兄弟のうち弟と妹二人が疎開した。

父の実家と言えども主食の米はあまりなく、私たちの口には入らなかつた。僅かばかりの米にいろんな具（大根、ジャガイモ、菜っ葉等）を入れて、米粒を探るのがやっとだった。薪で炊くと釜の底に焦げつきが必ずできる。この部分に僅かしかない米粒が意外とこびりつく、これをへらではがして食べるのが楽しみであった。米を糠いたあとの糠を団子にして食べたこともあった。こればかりは、いごく（苦いという方言か）て、喉をなかなか通らなかつた。

疎開はしたものの、何故か学校には行かなかつた。従兄弟同士でも仲良く遊ぶことはなかつた。町の者

がと今でいうイジメまではいかないが、何となく疎外されていた。疎開先の裏山で遊んでいた舎弟（68期・忠芳）が左足脛を骨折した。当時どうやって鉄道病院まで通ったか、恐らく母がリヤカーで約六キロの道を通ったのだと思う。

八月の真夏のある日、叔父が郡山にこやしを汲み取りに行く（当時は、人糞が農家の肥料であった）牛車に乗せてもらって、一人久しぶりに我が家に帰った。カンカン照りの真夏の太陽と、大きな花をつけたヒマワリと、はげしい蟬の鳴き声が今でも忘れられない。その時持たされた弁当は、例によって菜っ葉めしで、弁当から水分が滴っていた。

やがて、終戦の日が来た。疎開先の父の実家の庭に、隣近所の大人達が輪になってラジオに耳を傾けた。

遊びにこけていた私らには、意味が分からなかつた。

上空に飛行機が飛び回っていたのは何故か？ 今も疑問に思っている。

あれから、五十年が過ぎようとしている。



営業品目

- 煙突・公害防止関連機器
- 貯槽・塔槽類
- 鋼構造物

上記品の

- 設計・施工監理
- 点検・調査・診断
- 製作・建設



株式会社

富士ハイエンジニアーズ

一級建築士事務所

〒105 東京都港区新橋4丁目21番7号

つるや加藤ビル

TEL (03)3434-1611 (代表)

代表取締役 遠藤 修 (67期)

郡山の方言

今川 広吉 (65期)

㈱セガ・エンタープライズ貿易管理室長

安積卒業後四十二年が過ぎましたが、実社会に出てどうにかこうにか健康を保持し、未だ現役として元気に生活している現在です。安積在学中は、東北の発展都市である郡山で生活できるのを誇りに思っ
て六年間学習に励み、東京に出てもなんのためらいもなく生活出来ると自信をもって上京しました。然し実社会に出てみると、仕事は別にして、「言葉使い」だけは東北の山の中の「言葉」しか使えなかったのが、なんととっても大変困りました。現在では、交通・通信の発達、マスコミの影響で、安積在学学生でも言葉に不自由はしていませんが、当時は標準語を話せる生徒は東京から疎開していた人達だけだったので、東京に出てみると周りが皆東京人なので、東北の田舎から上京した私にとっては大変苦痛でした。

特に一番困ったのは、「い」と「え」の使いわけができなかったことです。話をする時はもちろんですが、文章を書いた時には何時も赤面のいたりでした。それが税関の職場に入り外人と接するようになり、英語を使用するようになりまし。今でも覚えていますが、その時には心も晴ればれとし、意気揚

揚と話すことができ卑屈になることもなく、大変助かりました。これも偏に故鈴木熊三郎先生のお陰であったと思います。安積はじまって以来の変わった英語の発音をする先生であつたが、「い」と「え」の発音は立派だつたと感謝しています。それ以来四十二年間、未だに「い」と「え」の区別はできていません。だから文章を提出する前には必ず、一度妻に読んで貰うことにしています。一方英語はといえど、職業に必要な以外の会話は何も進歩していません。こんなことを書くとき現在の安積の生徒達には遠い昔話のように聞こえるかも知れませんが、現実によく日本人が外国に行った時に経験していることですから、よくお分かりだと思います。

私は現在第二の職場である㈱セガ・エンタープライズに働いていますが、当社の外国人達は大変上手に日本語をこなしています。彼等には言葉に対する違和感がないのかも知れません。早く日本人もそうなつて欲しいものです。

然し、なんととっても年に一度開かれる東京桑野会・六十五期東京五十鈴会に参加して、郡山の方言で参加者の皆さんとお話をするのが懐かしく、又参加することを楽しみに心待ちにしている次第です。年齢も六十歳を過ぎたせい、やることなすことすべて年寄りじみてきたが、「考え」だけは若くもち老化防止に努力しています。これからの第二の人生に於いては、趣味であるゴルフに競馬にと元氣を出して挑戦しています。

人生の終わりに悔いのない生活を送ることがやはり一番大切なことであり、また最高の人生だと思いません。



株式会社

渡辺電務社

電気設備設計施工

本社 東京都江東区三好1-1-2
電話03-3641-0136 (代表) 〒135
千葉営業所 千葉県千葉市中央区都町2-5-1
電話043-231-9287 〒260

取締役社長 渡辺豊定 (58期)
(旧姓沢村)

トライ・トゥ・リメンバー

(若い頃を思い出さない)

国分和四郎 (74期)

国分整形外科医院院長

「Try to remember」というブラザーズ・フォ
ーも歌った名曲がある。「まだ大人になっていない
何も知らない頃はゆとりがあつて、草が緑で麦が黄
色なのは当たり前だとも思わず、それを見て喜んだ。
この心を思い出さない。そしてそういうふうにな
りなさい」という内容だと聞いた。美しい詩だ。
町で医院を開業してから若いころ好きだった事を
思い出した。

ある時は自分の宝物のギターで「浜千鳥」などの
童謡や、忘れていたと思つていた「アルハンブラの
思い出」を弾いてみた。運動記憶で手が覚えていた
のはうれしかった。また懐かしい曲を聞きにレコー
ドを聞かせてくれる居酒屋や、ライブをやる店など
によく行きハービーマンのフルートなどのいい曲を
ビールの酒肴にした。ジャズ好きな人と話もした。
またある時ジョージ川口の「芸を語る」というTV
放送で戦後の音楽を聞き、十歳の頃、木造三階建の
本宮劇場で親と見た歌謡ショーのドラム演奏を聞い
て感動したことを思い出し、古いドラムを出して叩
いてみた。

そういうある日、(第一回)ピックバンド・フェス

テイバルが行われることをたまたま知り行つて見た。
社会人のバンドがよく耳にする曲を演奏していた。
これは楽しめる。わが町にもバンドが欲しいと思つ
た。町のW氏が以前に吹奏楽をやつていたことをた
またま知り、話してみたところ面白そうだという事
で時々バンド結成や音楽祭の夢を語つた。夢はなか
なか実現しなかったが、彼の骨折りのおかげでバン
ドを組んで、もとみや青年会議所の音楽祭にデビュ
ーした。

バンドはフアジーネーブルとM氏に名づけられク
ラリネット、サクソフォーン、トランペット、トロ
ンボーンを主に十二名(現在二十名)でジャズ、ポ
サノバなどの曲を演奏した。リハーサルでは音が合
わなくて不安だった。ビールをやつて本番。ワンツ
ースリーフォー、曲が始まった。楽譜の向こうに客
席がぼんやり見える。周囲の音が吸い取られるよう
に消える。自分のドラムの音は響かない。指が固い。
ひや汗が出る。おつ、これだ。福医大ギタークラブ
の演奏会の時に感じた緊張感と全く同じだ。三十年
前にタイムスリップしている。脳みそのどこかにし
なびれないで年をとれないまま残つていた部分が共
鳴したみたいで、少年(?)に返つたような気がし
た。うれしい心よさを味わつた。

翌年には待望のビッグバンド・フェステイバルに
参加した。真夏のくそ暑い日、開成山野外音楽堂で
いい汗を流した(五十歳)。このごろは町の吹奏楽
団や合唱団と町づくりに参加したり、秋祭りには御
神酒を飲んで歩行者天国でやつたりして音を楽しん
でいる。



株式会社 櫻井淳計画工房
J. SAKURAI PLANNING ASSOCIATES

櫻井 淳 (78期)

〒150 東京都渋谷区桜丘29-24 秀和桜丘 707 PHONE. 03-3462-4161~2 FAX. 03-3462-4163

日本の医療と規制緩和

武田 弘紀 (72期)

ボシユロム・ジャパン(株) 取締役・薬事部長

三年前まで勤めていた米国の医薬品・医療用具会社(B社)を役員早期退職優遇制度で退職し米国のスタンフォード大学大学院でビジネスを勉強した。世界中の企業の上級管理職者と寝食を共にし一緒に勉強したことは有益であった。一昨年から米国のコンタクトレンズ会社で仕事をしている。

B社在職中は主として腎臓機能を失った患者(腎不全患者)を治療する目的でカナダ及び米国で開発された腹膜灌流透析(CAPD)の導入と普及に携わっていた。腎不全患者を透析により治療する方法は比較的新しいものである。今から三十年前の米国では地方自治体が腎不全患者のリストから透析治療を受ける患者を抽選で決めていた。抽選にもれた患者は死んでいった。当時の透析はそれだけ貴重な治療であった。現在でもこれに近い状態の国がいくつかある。英国でさえも年齢制限があり、高齢者の透析は認められていない。

日本ではCAPDが導入される以前の透析は血液を体の外に導きフィルターで浄化し、体に戻す方法であった。今でも、この方法が主流である。CAPDは腹腔内に灌流液を注入し、血液中の老廃物を灌流液と共に体外に取り出す方法である。

CAPDの第一の特徴は患者自身が自宅で、職場で、あるいは学校で行う事が可能なことである。即ち、腎不全患者の社会復帰が可能なのである。しかし、CAPDを日本に初めて導入した当時の日本の医療規制では、病院の外で透析を行うことは例外的な場合にだけ限られていた。したがって、当初はCAPDは病院内でのみ認められていた。入院を不要にした治療方法が、実際には病院の中でのみ可能であると言う矛盾した状態が一時期あった。このような状態を打開するには米政府から日本政府に改善を要請する方法が効を奏した。

今では日本の製薬会社もCAPD療法をビジネスとしている。

次にB社で手掛けた仕事には医薬品と医療用具とを組み合わせた製品(キット製品)がある。この製品は溶解液の入った容器をあらかじめ医薬品の入った容器と連結させたものであり、そのメリットは外気にさらすこと無く医薬品に溶解液を注入することが可能になり、外気からの微生物による汚染、及び医薬品による外気の汚染を防ぐことが出来ることである(癌細胞を殺す抗癌剤は正常細胞にも有害である)。しかし、十年前の日本の薬事規制では薬を用具に組み込むことは認められていなかった。これも日米政府間協議で一九八五年に決着した。皮肉なことに、B社は日本の薬事規制を変えることは出来たが、技術上の理由で日本にキット製品を導入するに至っていない。しかし薬事規制を変えることにより日本の製薬会社がキット製品を開発し、厚生省の承認を得て販売することを可能にした。

米政府からの政治的圧力により実現した医療規

公認会計士 星 武典 事務所

ムアーズ・ローランド 国際会計事務所所属

〒101 東京都千代田区神田錦町2丁目5番地(KSビル3F)

TEL(03)3291-8361 FAX(03)3291-8465

星 武典(58期)

則及び薬事規制の変革により恩恵を得たのは日本の製薬会社と治療を必要とする患者の方々である。

昨今の規制緩和を訴える動きが日本の経団連などからも提案されるに至った事は好ましいことではあるが、それが経済不況の解決策としての発想とはさもない限りである。日本の経済が好転すれば規制緩和が不要になるのだろうか。

今や規制緩和は日本人にとって基本的な次元の問題である。世界における日本の異常な相対的位置を是正するには規制緩和以外にない。過剰な規制が日本人の自由な発想をも蝕んでいるのである。それによる被害者は日本国民であり、医療の分野で言えば、より安全な、より便利な、より有効な治療方法を必要とする患者の方々である。

ASAKA FELLOWSHIP

中国文学に夢中です！

土田 隆弘（105期）

一松書院大学文学部中国文学科二年

私が母校を卒業してから三年が過ぎました。高校時代と同じ年数をすごしたわけですが、この三年間はいろいろなことがあります。受験の失敗（高校時代は、文武両道に反して部活にあけくれた毎日だった）、当然の報いであつたと思いますが）、浪人時代とその中での友人の死、そして大学入学。思

えばあつという間の出来事であつたと思います。「月日は百代の過客にして……」と芭蕉は表現しましたが、まさにその通りであると思います。

大学に入学し、もうすぐ二年がとうとうとしていきます。私が今学んでいるのは、中国文学の論語・孟子・唐詩・思想史、国文学の万葉集・伊勢物語・源氏物語・奥の細道等です。どれも概論的なもので専門的に学習しているわけではありませんが、内容的にもおそらく興味をひかれるものがあります。

それに、私は中国文学科に在籍していますので、これからは主として中国文学の関係を勉強していこうと思つています。特に興味を持っているのは、儒家思想や老荘思想、李白や杜甫等の詩、そして漢字です。日本の慣習の中に儒家思想、老荘思想はどのように根付いているか。又、李白や杜甫等詩は日本の詩に影響を及ぼしているのか。このようなことを調べてみたいと思つています。特に漢字は六世紀頃日本に入ってきて以来、私達にとってなくてはならないものです。その漢字の成り立ちを調べてみたいと思つています。

今年の四月で三年生になります。私は、母校の大先輩、高山樗牛の言葉、

「吾人ハ不須ク不ル超越セ現代ヲ」

を忘れず、夢にむかつて頑張りたいと思つています。

清潔・快適環境を創ります

株式会社
ローズ・ビルサービス

福島県郡山市深沢一丁目2番10号
TEL 0249-32-6069 FAX 0249-32 6099

代表取締役 遠藤 榮重 (64期)
取締役専務 遠藤友紀晴 (92期)

歴史の華鏡

編集委員 岡本 健一



▶ 朝河 真一博士

日清戦争（一八九四―一九〇一年）と日露戦争（一九〇四―〇五年）から教えて、今年には、それぞれ百年、九十一年に当たる。おのづから、日清―日露戦争期の古典として、外務大臣・陸奥宗光の『露寇』（岩波文庫）と、エール大学教授・朝河真一の『日本の禍機』（講談社学術文庫）が、読みなおされたいものだ。

その研究で、欧米の代表的な中国史家となるが、古文書の虫のような歴史学者ではなく、日露戦争がはじまると、日本弁護のため精力的に講演・執筆活動をつづけた。こうした体験をもとに一九〇九年、著したのが、日本語による唯一の著書『日本の禍機』。

朝河によると、日本が帝政ロシアに勝つてポーツマス条約を締結した結果、ロシアの「偽善的欲」を排して、中国の「主権」領土保全と各国の「経済上の」機会均等と、人類の文明に貢献し、正当の

の国、文明の敵として戦うこととなる。この警告したあと、朝河は訴えた。

「新外交」の三大原則を誠実に遂行して、アメリカと

もに東洋の進歩をはかるか、それともアメリカを敵とするか。それこそ「日本国史上の最大事件」たる。その決断を迫られる今が、

歴史家・朝河真一の弁護と警告

交渉にあたる国際政治学者の回顧録だが、みずからの行動と心情を百年前の陸奥になぞらえる。

高校から東京専門学校（現早稲田大学）に進み、一八九五年暮れ、アメリカのダートマス大学へ留学。大隈重信、勝海舟をはじめ、大隈の師友から渡航費を借りて留学することには、同郷の野口英世博士とともに、苦学力

優勢を持して永く世の畏敬を受けるべき日本国が、かえって東洋の平和を攪乱し世界憎悪の府となり、国勢頓に逆運に陥ることだ。「過去の善人が急に凶悪と化して、天下最強の義者（中国に対して手の汚れていないアメリカ）を我が敵」とすることだ。

「日本の禍機」の方は、とくに九一年の露清戦争当時、若い歴史学者たちが争って読んだ。八十年前日露戦争後の日米関係と現代（露清戦争時）のそれが、重なって見え

た。エール大学大学院に学んだあとダートマス大学とエール大学で教えた。やがて『東来文書』（鹿児島旧家に伝わった中世文書）の比較法制史

と戦い、米國と争うことになれば「実に世に孤立せる私曲

日本の禍機

日清戦争（一八九四―一九〇一年）と日露戦争（一九〇四―〇五年）から教えて、今年には、それぞれ百年、九十一年に当たる。おのづから、日清―日露戦争期の古典として、外務大臣・陸奥宗光の『露寇』（岩波文庫）と、エール大学教授・朝河真一の『日本の禍機』（講談社学術文庫）が、読みなおされたいものだ。

たのが若泉敏さんの大著『他する洞察力の深さに驚いた。策ナカリシラ信セムト欲シ』（文藝春秋）。佐藤栄作首相の特使として密かに沖縄返還

する洞察力の深さに驚いた。朝河博士（一八七三―一九〇八年）は福島県二本松市の出身。安積中学校（現・安積

州（中国東北部）における旧利権を独占しようとするなど、中国いじめの「旧外交」をまねしはじめた。「世界史の潮流」に逆らう日本の姿を見て、日本びいきのアメリカがコロッセ反日に変わった。日本の国運は一見、隆盛にむかっているが、朝河の目には早くも「日本は」の危機を通過して他の危機に迫りたり」と映るのだ。

「日本の最危機」である。血を吐くような朝河の訴えにもかかわらず、その後

各種貯油槽・圧力容器・製缶・化学プラント設計施工

興和鐵工株式会社

福島県郡山市富久町久保田字大久保63

電話 郡山 (0249) } 22 3840
32-3292
FAX (0249) 33 6104

代表取締役
荒井 孝一 (78期)

1994年(平成6年)12月9日(金曜日)「毎日新聞」より

事務局 便り

■会報の発送は、会員各位の住所動向に大きく左右されてしまいます。住所が変わっていると、せっかくの会報も戻ってきてしまうので、住所移動の際は事務局まで、ご一報下さるようお願い致します。

■創立百周年記念事業として、テレフォンカードを作成しました。旧本館バルコニーの春と秋のカラー風景写真（佐藤友一郎氏提供）をテレカにしたものですが、昨年の総会と記念式典で発売したところ、大好評で完売致しました。関係各位のご協力に感謝致します。

■総会の出欠ハガキを同封していますが、ハガキには氏名、住所、電話番号、卒業年、期、勤務先と電話番号、役職等を明記して下さい。そして連絡もれもあるかと思われまますので、お問い合わせのうえ、多数のご出席をお願い致します。

編集 後記

■一九八二年（昭和五十七）の創刊号から九年（平成七）の17号まで十三年間総三百八ページの「総目次」を目の前にし、改めて壁

谷会長・澤田会長はじめ会員と会員外のみなさまの重みを実感し、感謝します。16号まで表紙のカットを含め延べ三百四十一の方々からご寄稿を頂き、座談会には延べ四十三人にご出席頂きました。それにも増して延べ二百四十三名の「協賛広告」の絶大な協力には心からお礼を申し上げます。（67期 水口禎）

■一月末の締切りなのにスケッチ作品の依頼を安積の日下部先生にお願いしたのは二十日頃でした。三十日に作品が着信した時は只安堵。同封原文「今の時期学校の方がかなり忙しく又期間もなくいそぎスケッチしてみました。もう少し時間があれば数も集まるのですが早々：。」美術科日下部 とありました。一面識もない母校の先生に文書でお願いし東京桑野会のために間隙を縫って下さったことに心よりお詫びと感謝を申し上げます。（74期 高松豊）

■関西大震災の衝撃の中、相変わらず地方巡業で、編集の最後の詰めに参加できないまま、渡邊さん、丹治さん、根来さんに頼り、なんとか17号が形になりました。不景気の中、広告が中々集まらず、迷惑を承知でお願いし、多くの先輩が引き受けていただいたことに感謝いたします。原稿が不足し、当初の予定からページが大幅に減少したことに、力不足を感じております。ただ反省のみ。（広報部長 78期 櫻井淳）

■生まれて初めて、募金箱を手に街頭に立ちました。出前の帰りとおぼしき白衣の若い人

がポケットからお札を出し、しわをのぼしながら入れてくれました。髪を染めた少年たちが、そろって財布の小銭をみんな出してくれました。買い物らしいおばさんは「ごころうさんです」と言って、何枚もの千円札を寄せて下さいました。でも、私と同じくらいのおじさんたちは、どうしてでしょうか、素通りの方が少なくありませんでした。（81期丹治則男）

■戦後五十年を総括する年の年明け早々、阪神地区を大地震が襲った。すごい被害がでていると聞いて、TVをつけた。これはヒドイ！そこに映し出された映像を見て思わず身震いした。戦後生まれで戦災の経験はないが、地震のこわさは知っているつもりだったが、これ程とは思わなかった。大震災を目のあたりにして、もしそうだったら、自分はどうするか、何ができるかと考え暗たんたる気持ちになった。

でも被災地の方々の方々の力強い声に逆に救われる思いがした。いつのまにか「頑張ってください」とTVに向かって声をかけていた。（81期 渡邊龍一郎）

■三年間とても楽しかったです。でもとても疲れました。OBの皆様、もっと原稿を下さい。後輩のみんな、広報部を手伝って下さい。今以上に東京桑野会のすばらしさ、先輩の暖かさが感じとれます。お世話になった皆様、本当にありがとうございます。（91期 根来尚史）

安積の応援歌

紫の旗のゆく所

一、紫の旗のゆく所
何処にか我敵あらん
競い立て我健男児
奮い立て我健男児

二、打てば勝つ我歴史こそ
昇る日の光に似つれ
我主義は正義と進取
矛とりていざやしめさん

三、攻めよ打て鍛えし腕を
試すべき時こそ来れ
何物か我等の敵ぞ
握らん覇権の剣



霜に乱るる

一、霜に乱るる暁の
白露ふんで我立てば
桑野路通う朝風に
若き血ゆらく狂熱や
ヤレヤレヤレヤグルマイタホー
ドンガドンガドンガ
ドンガドンガドン
(これを各節毎にくり返す)



二、我ゆくところ君も見よ
鉄露二百里東北の
一挙に敵を蹴破れば
嗚呼敵軍に生氣なし

三、桜の香薫ばしく
関の以北に幾歳か
七州の覇とうたわれし
嗚呼安高の健男児

天地の正気

(凱歌)

一、天地の正気人の華も
春は安積の岡の辺に
秋は五十鈴の月影に
集めて成れる健男児

二、一度鉄腕振う時
勇める敵の影もなし
再びたたば王冠は
己が頭上に輝けり

三、全勝の栄今ここに
芙蓉の峰の朝ぼらけ
光照らさん隅もなく
身よや安積の健男児



チャカホイ節

一、桜かざした安積の健児
腕がなるぞえ血が燃える
チャカホイ チャカホイ
(以下各節毎にくり返す)

二、打てよ打て打て根気の限り
白の二本筋伊達じゃない

三、死のと生きよ男の生命
骨が舍利でも負けやせぬ

四、守れ守れや八幡菩薩
鍛えきたえし我が選手

五、見たか聞いたか安積の名前
鍛えきたえしその凄さ

六、安積安積と名前は上がる
見よや栄ある優勝旗

嗚呼天日の輝きに

一、嗚呼天日の輝きに
安積原頭春たけて
北門の外絶頂に
誇りと照れる五十鈴湖

二、猛獅子一度嘯けば
砂漠の砂にひれ伏して
憐れみを乞う群獣の
その醜態をここに見よ

三、正意気今か優勝の
歴史に恥を残さじと
奮えや安積の健男子
(くり返し)

四、北磐梯の霊峰に
南はうねる阿武隈の
桜花散る安積野に
誇りと照れる五十鈴湖

東京桑野会定期総会開催のお知らせ

東京桑野会のメインイベントである、定期総会と懇親会を開催いたします。多数の同窓会員の皆様が参加されますようご案内申し上げます。

●期日 平成七年四月二十五日(火)

●時間 午後五時——受付開始

午後六時——総会

午後六時三十分——懇親会

●議題

一、会務報告の件

二、予算決算の件

三、役員改選の件

四、その他

●場所

目白 椿山荘

東京都文京区関口二—十一—八

(TEL〇三—三九四三—一一二)

JR目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋下車

●会費

懇親会八、〇〇〇円(学生年度会費含三、〇〇〇円)

平成七年度東京桑野会会費二、〇〇〇円

なお、当日出席出来ない方は、同封の振込用紙で年度会費二、〇〇〇円のお振込みお願い申し上げます。

◇準備の都合もございますので、出欠の返事は同封の葉書で3月末日までにご返送下さいますようお願い申し上げます。

◇また、連絡もれもあるかと思われますので、先輩、同期、後輩もお誘い合わせのうえ、多数の出席をお願いいたします。

◇昨年度は、平成6年6月4日に開催され、母校創立110周年記念総会ということで出席者は250名を超え大盛況でした。